

# お楽しみ サタダ

2012



vol.113

6



## はいっポーズ!

《訓子府地区・西富》

渡辺智絵さんと明哉くん・唯翔くん  
来智くん・瑛琉くん

(紹介は2ページです)

### 特集

- きたみらい農業の「希望の星」へ！エールを
- 食べよう 和食の朝ご飯



# きたみらい農業の ニユーフェイス

特集

# 「希望の星」へ! エールを

24年の植え付けがスタート。しかし組合員の皆さんは、天候不順の中で大変な苦勞をされ、無事植え付けを終えることができました。

そんな中、この春から夢や希望を抱き「農業」への道を歩き始めた多くの青年が日々奮闘し、汗を流している姿が見られました。

厳しい農業情勢の中、あえてこの道を選んだ果敢なる農業青年の行く末に多くの幸せがある事を願うものです。

**今月号の特集として、新就農者のみなさんを紹介します。**

訓子府地区・大谷  
まさ ゆき  
昆野将之さん



福島大学で経営学を専攻したことをきっかけに、実家の農業経営に深い関心を寄せていました。在学中に教授の勧めもあり、他業種を経験してからUターンの形で、この春に就農しました。

一から学び、農業人として早く一人前になり、高収益農業を目指したいと思っています。その上で、現状から課題を見つけ、自分なりの経営というものを模索して行こうと考えています。さらに、青年部の活動、地域のイベントには積極的に参加し、交流の中から数多くの事を学び、農業者として社会人として成長していけたらと思っています。

将之さんは、玉葱専業経営の範雄さん・政恵さん夫妻の長男で、昭和62年7月生まれの24歳です。趣味はフットサルとソフトバレーです。

訓子府地区・協成  
かける  
相馬翔さん

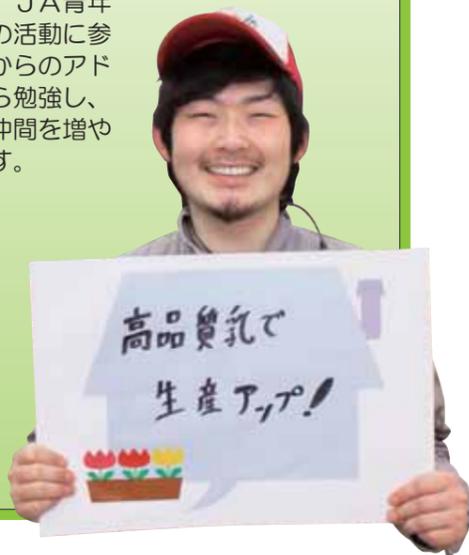
北見市内で6年間、建設資材の会社に勤めていましたが、「いつかは家業を手伝い、両親の手助けになりたい」と常々考えていたことを実行に移し、就農しました。

乳牛頭数は現状維持で、牛乳の品質アップと効率の高い作業体形を築き、生産性を上げていくことが目標です。

そのためにも、JA青年部と酪農青年部の活動に参加し、様々の方からのアドバイスを得ながら勉強し、一人でも多くの仲間を増やしたいと思っています。

翔さんは、酪農専業経営の勤さん・真弓さん夫妻の次男で、昭和62年12月生まれの24歳です。

趣味はスポーツ（観るのも、するの）。



訓子府地区・豊坂  
はる き  
中原春樹さん



幼い時から農業という仕事を見てきたので、迷いもなく道立農業大学校に進み、この春に卒業と同時に就農しました。

乳牛を増やし、乳量のアップ。さらに乾乳牛別飼いや入れ替えなどを

して行きたいと思っています。

そのためにも、青年部や酪農グループにも積極的に参加したいと思っています。また、酪農ヘルパーも体験し、酪農に関する知識や技術を習得したいと考えています。

春樹さんは、酪農と畑作混合経営の信幸さん・江利子さん夫妻の長男で、平成3年6月生まれの20歳です。

趣味はドライブとバスケットです。

訓子府地区・北栄  
まさ ゆき  
南雅之さん

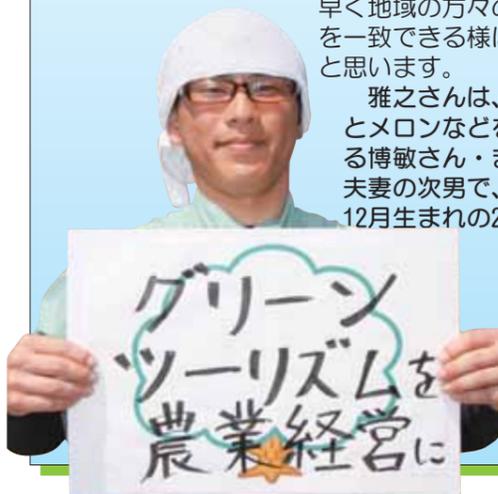
高校生の頃から「いつかは農業を」と考えていました。大学で職業選択を迫られた時、「土地・農機・仲間」の3つ揃った状況は「特別な事なのだ」と気付き、地元での就農を決意しました。

経営形態は畑作三品とメロンの作付けを続け、その他に農業や豊かな自然を活かしたグリーンツーリズムの活動を行い、農業経営に組み込めればと考えています。

農業人としても社会人としても1年生なので、青年活動や日常の交流から様々な事を学び、そして、早く地域の方々の顔と名前を一致できる様になりたいと思っています。

雅之さんは、畑作三品とメロンなどを作付けする博敏さん・まゆみさん夫妻の次男で、平成元年12月生まれの22歳です。

趣味は愛犬、愛猫と過ごすことです。



訓子府地区・西富  
ひろ き  
清井裕貴さん



平成16年に酪農学園大学を卒業後、北見市内のトラックディーラーで営業の仕事をしていました。

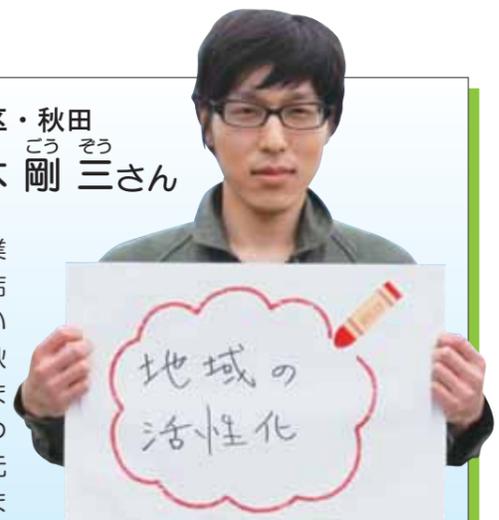
休日などは農業を手伝っていましたが、回数を重ねる内に自然と触れ合う仕事が気持ちよく感じてきた中、両親や祖父が「大切に培ってきた農地など無くしたくない」という想いから就農を決意しました。

両親から教わっていく一つひとつを、焦ることなく自分の物にしたいと思っています。そして、視野を広く持って、生産や経営技術を学び、高品質な作物を生産したいと思っています。

青年部や地域行事などに積極的に参加し、知識向上と仲間作りをして行きたいと思っています。

裕貴さんは、玉葱専業経営の敏行さん・久美子さん夫妻の三男で、昭和57年3月生まれの30歳です。趣味はスキー、晩酌、焼き肉です。

置戸地区・秋田  
ごう せう  
鈴木剛三さん



短大卒業後、飲食店で働いていて昨年の秋に就農しました。いつかは、地元に戻り生まれ育った地

域の発展に貢献したいという気持ちがあり、そして農業の可能性の広さに就農を決意しました。

今はまだわからない事ばかりなので、当面の間は無理せず気負わず初歩的な事をしっかりと学んでいきたいです。

地域の方たちやJA青年部の皆さんと積極的にかかわり、色々な事を吸収しながら楽しく交流し、営農に活かしていければと思っています。

剛三さんは、畑作経営の純一さん・千鶴さん夫妻の長男で昭和59年2月生まれの28歳です。

趣味は動物が大好きです。(特にねこ好き)



相内地区・美園  
林 尚 哉さん

大阪体育大学を卒業後、神奈川県で不動産業の営業をしていましたが、都会は特に「食」に対する意識が低い様な気がしてならず、自分が自ら食の重要性を皆に伝えたかった事が就農を決めた大きな要因です。

農業経営については、正直、まだ良く分かりませんが、まずは一期一会の心を持って地域の方々の名前・顔を覚え、青年部視察研修や、スポーツ大会に参加し、コミュニケーションを取り農業の意見交換や近況報告が出来れば良いと思います。

尚哉さんは、畑野菜複合経営の政則さん・秀子さん夫妻の長男で、昭和60年9月生まれの26歳です。

趣味は、高校からずっとやっているラグビー（今でも練習・試合で汗を流しています）。お酒を飲みに行くことや、温泉に行くのも好きです。



相内地区・西相内  
大橋保登士さん

土木作業員として働いていましたが妻加奈子との出合いがきっかけに、今までの仕事を辞めて就農する事になりました。

酪農の経験が無く、まだ経営の事は良く分かりませんが、ゆとりの有る生活を築くために日々勉強中です。

地域のイベントなどに積極的に参加し、情報交換をし、一から学ぶ農業人として早く、地域の一員として認められる様、成長できればと思っています。

保登士さんは、酪農のほか小麦を作付けする酪農複合経営で、昭和56年2月生まれの31歳です。

趣味は、釣（時間があったら大物を狙いたい）



訓子府地区・清住  
平田 翔 唯さん

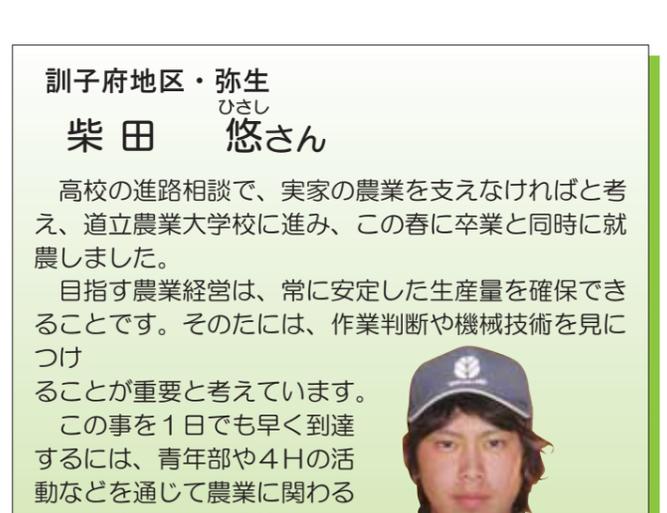
高校3年生の時、「両親の力になり、恩返しをしたい」という気持ちで、自分も農業をやろうと決めました。そして、この春に道立農業大学校を卒業と同時に就農しました。

目の前にある仕事を覚えることが先決ですが、現状の経営維持と栽培方法を改善して、品質や収量を上げることが目標です。

毎日、両親に教わりながら仕事をこなしていますが、「なぜなんだろう？」と分からないことが多いです。知識や技術の習得や仲間づくりの場として、青年部活動には積極的に参加したいと思っていますので、先輩の皆さん宜しくお願いします。

翔唯さんは、玉葱や小麦、てん菜、メロンなどを作付けする康弘さん・裕美子さん夫妻の長男で、平成3年11月生まれの20歳です。

趣味はドライブと菓子作り、そして吹奏楽です。



訓子府地区・弥生  
柴田 悠さん

高校の進路相談で、実家の農業を支えなければと考え、道立農業大学校に進み、この春に卒業と同時に就農しました。

目指す農業経営は、常に安定した生産量を確保できることです。そのためには、作業判断や機械技術を見につけることが重要と考えています。

この事を1日でも早く到達するには、青年部や4Hの活動などを通じて農業に関わる知識や技術を、先輩皆さんから学びたいと思います。

悠さんは、畑作三品とゴボウ、にんにくなどを作付けする豊喜さん・ひとみさん夫妻の四男で、平成3年8月生まれの20歳です。

趣味は音楽と映画鑑賞です。

北見地区・美里  
荻野 清 彦さん

北見工業高校を卒業後、農機メーカー等へ勤務していましたが、両親の負担を少しでも軽減したい気持ちと農業にやりがいを感じ、就農しました。

もしTPPが始まってもし負けない強い経営を目指しています。そのためには自ら勉強し、経営者としてしっかりした考えを持つことが必要であると思います。就農して約1年になりますが、北見酪農青年同志会を始め、皆様には色々な事で手伝って頂き大変感謝しています。これからも横と縦の繋がりを大切に、絆を深めて行きたいです。

清彦さんは酪農専業経営を営む忠市さん、ミエ子さん夫妻の長男で、昭和47年生まれ39歳です。

清彦さんは酪農専業経営を営む忠市さん、ミエ子さん夫妻の長男で、昭和47年生まれ39歳です。



北見地区・上仁頃  
岡崎 真 士さん

今年の3月に酪農学園大学を卒業と同時に就農しました。

将来的に農業を継ぎたいと決めていましたが、早い段階で農業に携わることで両親の力になりたいという思いと、大学で学んだ事を活かしたいという思いが就農を決意した大きな要因です。

試行錯誤の日々ですが、現在よりも高品質な作物を消費者へ提供しながら安定した経営を継続できるように、勉強を重ねていきたいです。

これから青年部や4Hクラブの活動にも積極的に参加し、親睦を深めていきたいです。

真士さんは畑作を営む好照さん、緑さん夫妻の長男で、平成2年生まれ22歳です。

趣味は音楽・映画鑑賞、ドライブです。



相内地区・豊田  
森谷 利 隆さん

平成24年に拓殖大学北海道短期大学を卒業後、父と母の仕事をする姿を見て、自分も農業をしたいと決心し、この春に卒業と同時に就農しました。

農業経営では、柔軟な対応ができ、応用力の効く経営を目指すために先見の明がある農業者を目指して頑張ります。

地域の皆さんとは、色々な情報を交換して、共有できる様な交流を図りたいです。

利隆さんは、田畑野菜複合経営の秀男さん・美佐江さん夫妻の長男で、平成4年3月生まれの20歳です。

趣味は、多くの乗用車を見ること（特にスポーツカー）ボーリングと寝ることです。



相内地区・豊田  
川岸 靖 浩さん

北見柏陽高校を卒業し、就職活動生をしていましたがなかなか決まらず家の手伝いをしていたのですが、今年から、「心機一転」農業者として就農する事に決めました。

就農するきっかけは、自分で作物

を作りたい思いが起って来たからです。

目指す農業は面積現状で品目ごとの反収を上げ、技術の向上のために努力したいです。そして、地域活動の積極的に参加し青年部員との交流を深め人間性を高めて行きたいです。

靖浩さんは、畑作三品と水稻などを作付けする一三さん・慶子さん夫妻の次男で、昭和64年4月生まれの24歳です。

趣味は、パソコン・音楽鑑賞・映画鑑賞・ドライブ・ゲームと多彩です。





端野地区・協和  
古屋 正人さん

昨年2月にUターンで就農しました。自分が会社員として仕事をするようになり、少しずつ農家の仕事が見えてきました。自分で考えながら仕事をする

ことへの魅力を感じています。自分が就農し、働き手が増えたが面積は現状維持ということもあり、少しでも面積を特に玉葱を増やしていきたいと思っています。

地域の諸先輩方、同年代の人に早く顔を覚えてもらえるよう青年部活動や地域活動に参加しながら、農業についての勉強をたくさんしていきたいと思っています。

正人さんは、玉葱、畑作三品を作っている英幸さん、君江さん夫妻の長男で昭和60年生まれの26歳です。

趣味はネットサーフィンです。



端野地区・協和  
永原 寛崇さん

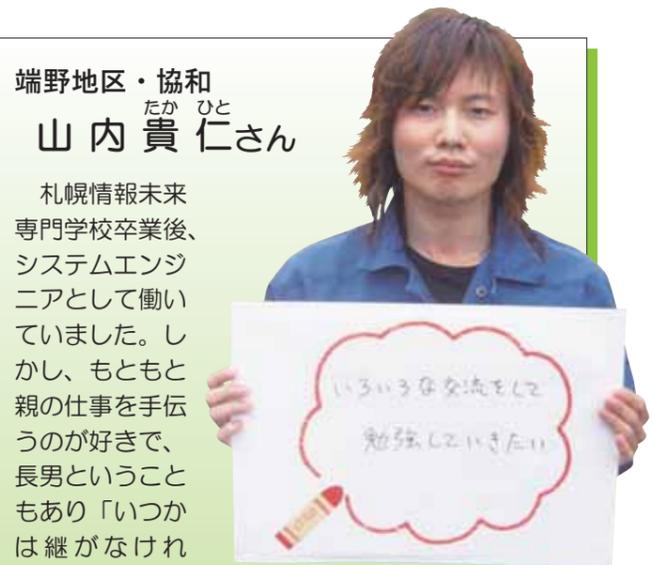
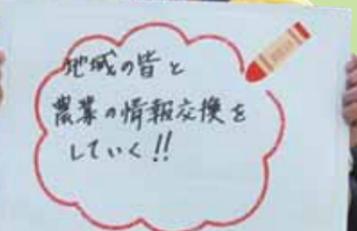
今年の3月に本別農業大学校を卒業して就農しました。農作業を手伝っているうちに、自分も農業をやりたいと憧れるようになりました。

試行錯誤をしながら、まずは自家の作業体系を理解しながら、いつかは野菜も取り入れた経営をしていければと思っています。

地域の諸先輩方や仲間と農業に関する様々な情報交換を図りながら、自家の経営に活かせるようたくさんの方のアドバイスを勉強していきたい。また、地域行事や青年部活動にも積極的に参加していきたいと思っています。

寛崇さんは、畑作三品を作っている友幸さん、香織さん夫妻の長男で平成2年生まれの22歳です。

趣味はドライブ・車いじりです。



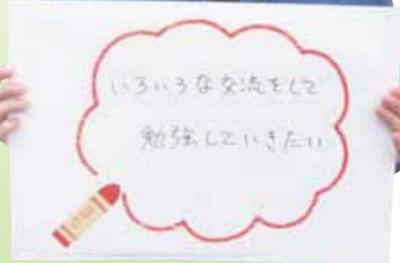
端野地区・協和  
山内 貴仁さん

札幌情報未来専門学校卒業後、システムエンジニアとして働いていました。しかし、もともと親の仕事を手伝うのが好きで、長男ということもあり「いつかは継がなければ」という思いから就農を決意しました。

今は農業について勉強中ですが、研修会や勉強会に積極的に参加し、知識を深めていきたいです。また青年部にも加入したので、これから活動を通して多くの方々と交流の輪を広げていきたいです。

貴仁さんは、玉葱、畑作3品を作付けする幹司さん、千秋さん夫妻の長男で、昭和63年生まれの24歳です。

趣味はスポーツ観戦、プラモデル作り。



端野地区・協和  
高橋 英雅さん

今年の3月に美幌農業高校を卒業し就農しました。農業は大変な仕事だと手伝いをしながら感じておりましたが、農業の仕事が楽しく、また凄い仕事だと

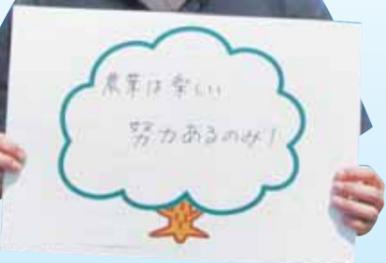
魅力を感じ就農を決意しました。

自分はまだ何もわからないので、大変なことばかりですが、農業という仕事に楽しさを感じることが出来るよう、まずは努力あるのみです。

地域の人達と仲良くしながら地域活動や様々な活動へ積極的に参加しいろいろなことを学び、親睦を深めていきたいと思っています。

英雅さんは、畑作三品・玉葱を作っている博幸さんの長男で平成5年生まれの18歳です。

趣味は車、バイク、釣り、麻雀など多彩。



端野地区・二区  
小川 和久さん

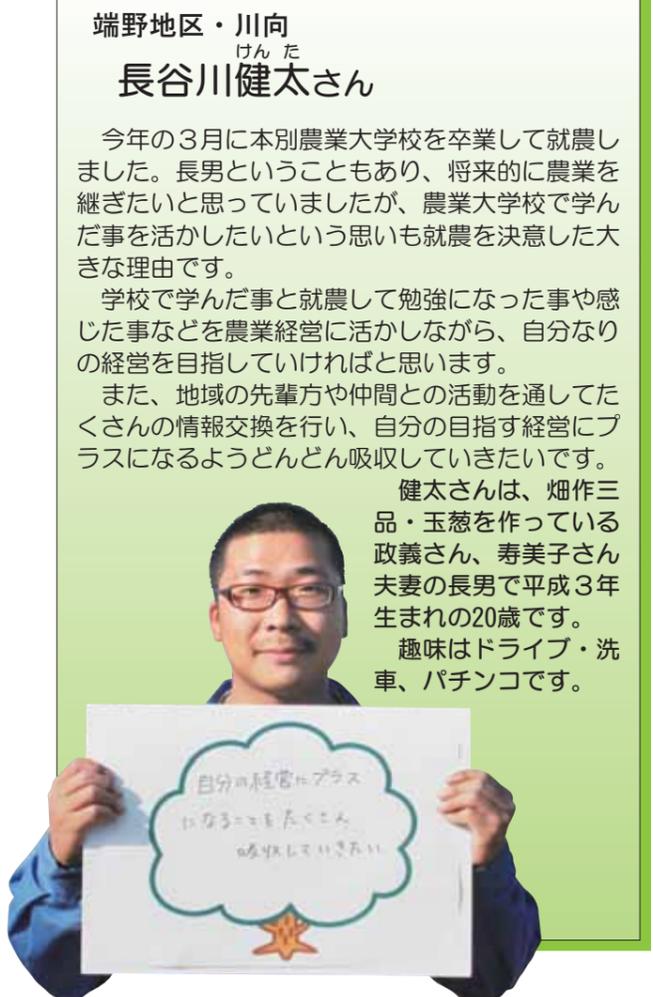
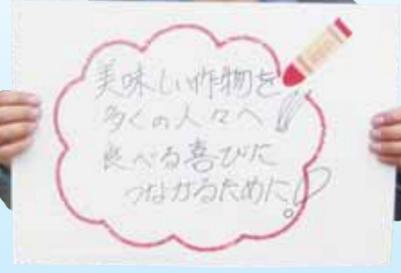
これまでHONDA R&Dセンターに勤務していましたが、家族と共に生涯を自然豊かな北海道で作物を育てる楽しさや食の美味しさを実感しながら生活したいという思いから、就農しました。

安心安全な農作物を安定的に供給できるような農業経営を目指し、農業生産法人として消費者と向き合いながら作物を作っていきたいと考えています。

これから地域の農家の方々と協力し、情報交換しながら農業に励んでいきたいです。

和久さんは、玉葱、てん菜、大豆、もち米などを作付けする吉猶さん、みほさん夫妻の長男で、昭和52年生まれの35歳です。

趣味は釣りなどのアウトドアです。



端野地区・川向  
長谷川 健太さん

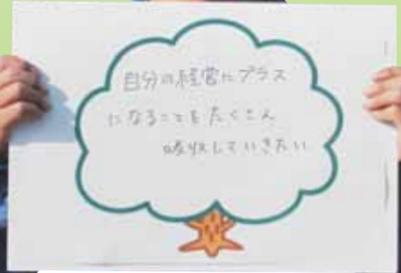
今年の3月に本別農業大学校を卒業して就農しました。長男ということもあり、将来的に農業を継ぎたいと思っていましたが、農業大学校で学んだ事を活かしたいという思いも就農を決意した大きな理由です。

学校で学んだ事と就農して勉強になった事や感じた事などを農業経営に活かしながら、自分なりの経営を目指していければと思います。

また、地域の先輩方や仲間との活動を通してたくさんの情報交換を行い、自分の目指す経営にプラスになるようどんどん吸収していきたいです。

健太さんは、畑作三品・玉葱を作っている政義さん、寿美子さん夫妻の長男で平成3年生まれの20歳です。

趣味はドライブ・洗車、パチンコです。



北見地区・大正  
豊原 昌文さん

高等技術専門学院を卒業後、6年間企業に勤めていました。しかし、昨年の夏頃から両親の身体がすぐれず、「少しずつ両親の力になれば」という思いから就農を決意しました。

安定した農業生産・農業経営を目標とし、今は勉強の日々ですが、経験を積み重ねることで、農業機械を始め多くの技術や知識を習得できるように頑張っていきたいです。

また、JA青年部へ加入し、活動を通して多くのことを学んでいきたいと思っています。

昌文さんは、てん菜、小麦、馬鈴薯を作付けする吉実さん、まゆみさん夫妻の三男で、昭和60年生まれの26歳です。

趣味は映画鑑賞、ドライブ、釣りです。



端野地区・三区  
沼崎 雅年さん

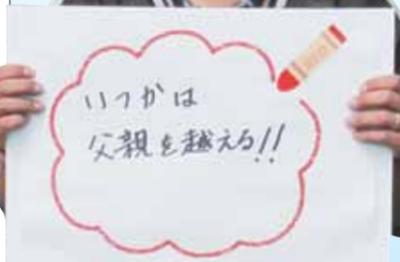
今年の3月に酪農学園大学を卒業し就農しました。高校生の頃から農業を継ぎたいと決めており、大学で農業の勉強をしたいという思いから酪農学園大学を志しました。

大学で学んだ事や実習を通して感じたことを活かしていきたいと思っています。今の経営を維持しながらも、いつになるかはわかりませんが、父を超えるような経営をしてみたいです。

地域のイベントや行事に参加し、青年部活動を通して多くの仲間と交流し情報交換をおこなっていききたいと思っています。

雅年さんは、水稲・玉葱を作っている栄治さん、佳代さん夫妻の長男で平成元年生まれの22歳です。

趣味は音楽・映画鑑賞、麻雀です。



## ちりめん雑炊

■カロリー：260kcal ■調理時間：20分

### 材料（2人分）

ご飯	150g
レタス	3～4枚
ニンジン	30g
シイタケ	2個
ちりめんじゃこ	20g
だし	カップ2・1/2
酒	大さじ1
しょうゆ	小さじ1
塩	少々
卵	2個
しょうが汁	小さじ1/2

### 作り方

- (1)ご飯はざるに入れて水で洗い、水気を切ります。
- (2)レタスはざく切り、ニンジンは千切り、シイタケは石突きを取って薄切りにします。
- (3)だしを煮立て、(2)の野菜と、ちりめんじゃこを加えます。ひと煮立ちしたら(1)のご飯とAを加えます。
- (4)卵を割りほぐし、(3)が煮立ったら回し入れます。しょうが汁を加えて火を止めます。

### 目覚めたばかりの胃に優しい朝ご飯

前日に食べ過ぎたり、お酒の日が続いたときにお薦めです。具はお好みでいろいろアレンジできますが、レタスは歯触りが食感のアクセントになりますから、ぜひ加えて。ご飯は洗ってから使うと粘りが出ず、サラリと仕上がります。



## アサリの豆乳みそ汁

■カロリー 59kcal ■調理時間：10分



### 体にいい豆乳をみそ汁に。意外にはまる味です。

焼きみそ汁に豆乳!?と思うかもしれませんが、豆乳はみそと相性が良く、加えると味がまろやかになります。さらに豆乳のこくとアサリのうま味が加わって、はまる味です。豆乳は、調整・無調整どちらでも結構です。

### 材料（2人分）

アサリ（殻抜き・砂抜き）	120g
水	カップ1・1/4
酒	大さじ1
みそ	大さじ1
豆乳	カップ1/2
万能ネギ	2本

### 作り方

- (1)アサリはよく洗います。万能ネギは2cm長さに切ります。
- (2)鍋に水、酒、(1)のアサリを入れて火にかけます。アサリの口が開いたらみそを溶き入れ、豆乳を加えます。沸騰直前に火を止めて、(1)の万能ネギを加えます。

## 食べよう 和食の朝ご飯



特集

## サケの焼き漬け

■カロリー：177kcal ■調理時間：20分

一日の始まりは朝食をしっかりとることから始まります。栄養バランスに優れた和食の朝ご飯で、今日も元気いっぱいがんばりましょう!!

### いつもの焼き魚をひと味変えて

焼き魚にほどよい酸味を利かせた汁が染み込み、魚がさっぱりと食べられます。すぐに食べてももちろんおいしいですが、前日に作っておくと味がよくなり、朝作る時間のない人にもお薦めです。

### 材料（2人分）

生サケ	2切れ(200g)
塩	小さじ1/4
マイタケ	1パック(100g)
シトウ	12本
砂糖・しょうゆ	各大さじ1
酢	大さじ3
酒	大さじ2

### 作り方

- (1)サケは塩を振って5分置きます。
- (2)マイタケは大きめにほぐします。シトウは切り込みを入れます。
- (3)器にAを合わせます。
- (4)(1)のサケの水気を拭き、グリルで両面を焼いて火を通してから(3)に漬けます。次に(2)の野菜もグリルで焼き、(3)に漬けます。途中上下を返しながらか10分以上置きます。



## サヤエンドウの卵とじ

■カロリー：64kcal ■調理時間：10分

### 彩りが良く、朝から栄養もしっかりとれます

朝の定番の卵料理にサヤエンドウとしらすを加えて、うま味と栄養をプラス。火の通りやすい食材でサッと簡単に作れるので、もう1品欲しいときや、お弁当のおかずにもピッタリです。卵は、蒸らす間の余熱を考慮して、加熱し過ぎないように注意しましょう。

### 材料（2人分）

サヤエンドウ	40g
しらす	20g
卵	1個
水	大さじ2
酒	大さじ1/2
みりん	小さじ1
塩	少々



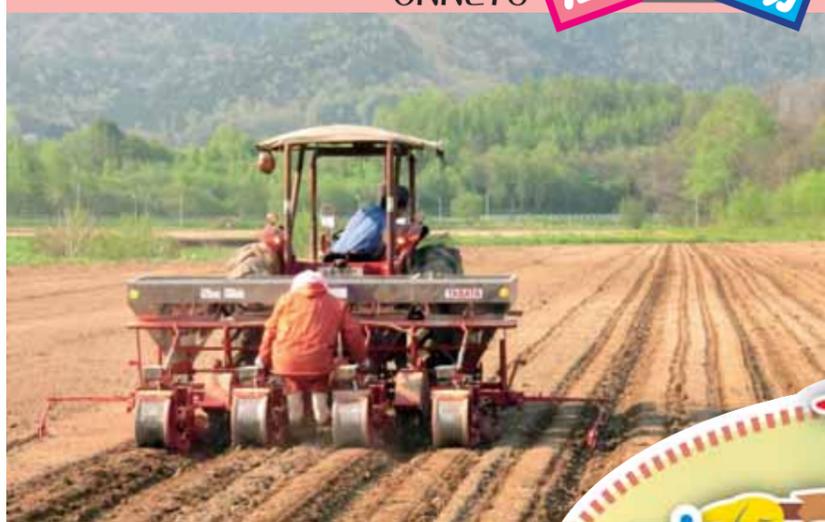
### 作り方

- (1)サヤエンドウは筋を取り、斜めに3～4つに切ります。卵は割りほぐします。
- (2)鍋にAを合わせて火にかけ、沸騰したら(1)のサヤエンドウとしらすを加えます。再び沸騰したら弱火にして、(1)の卵を全体に回し入れてふたをします。1分ほど煮て、卵が半熟のうちに火を止めて、少し蒸らします。



# デントコーン 播種作業始まる

～無事に発芽の  
期待を込めて～



▲夫婦で播種作業に励む三上さん

温根湯地区松山で乳牛約80頭飼育している三上さんの圃場では5月21日からデントコーンの播種作業が始まりました。

今年の天気は5月中旬まで低温・長雨で推移したものの、播種当日は晴天に恵まれ、作業の遅れを心配していましたが、例年と同じ時期に作業を開始する事が出来ました。

朝の搾乳と牛舎作業を終えた後、

春の暖かい陽差しの下、三上さんと奥さん2人で播種作業に励んでいます。

今年のデントコーンの播種面積は19畝を予定しており、2日間で作業は終わります。三上さんは「デントコーンが無事発芽し、栄養豊富な良い飼料が収穫できるように頑張って欲しい」と期待を込めて話してくれました。

# 馬铃薯培土機の実演会を開く

～早期一発培土で  
品質向上を目指す～



▲培土機の説明を受けている部会員のみなさん

相内畑作振興会契約馬铃薯部会（川岸一繁部長）は5月19日、馬铃薯の早期一発培土機の導入に伴い、実演を兼ねた説明会を開催しました。この日は部会員10名が参加し、技術の向上や契約馬铃薯の安定供給を目指し同部会で導入した一発培土機（ロータリーリッシャー）について販売メーカーから説明を受け、実際

の圃場で実演しました。この早期一発培土導入の狙いは、降雨による畝の乱れを防ぎ、緑化等の発生を防ぐことです。また、均一に砕土された培土内では変形などの規格外芋が減少する事を期待し、高品質で正品歩留まりの高い加工用馬铃薯を生産し、産地としての責任を果たしていくことを目指しています。



▼愛情込めて育てたトマトを摘みとる伊藤さん



KAMITOKORO logo with '上常品' text

# かみところ産トマト 収穫始まる

～愛情込め「自慢の味」  
出荷スタート～

上常品地区・常川の伊藤正一さんのビニールハウスでは5月中旬よりトマトの出荷が始まりました。

伊藤さんは玉葱・水稲を作付けするほか、ハウス16棟・1500坪に「桃太郎コルト」「桃太郎エイト」「桃太郎はるか」の3品種を栽培し5月から10月までの約6ヶ月間の長期間に渡り出荷しています。

まだ出荷初めということもあり1日約80kg程の出荷量ですが、最盛期は1tを超える量となります。夏の暑い時期のハウス作業などは辛い作業ですが、伊藤さんは「きつい作業もありますが、消費者の方から美味しいとの声を聴くと辛い作業にも力が入ります」と愛情込めて作業に励んでいます。

▼共同で子牛にミルクをあげる園児たち



OKETO logo with '置戸' text

# 園児たちが 哺乳体験

～食育事業に  
部員12名が参加～

青年部の置戸支部（渡邊健太郎支部長）は5月30日、部員12名が参加して食育事業の一環として置戸町こどもセンター「どんぐり」の園児85名を対象に子牛の哺乳体験を行いました。

同青年部の小山畜産部会長が、「牛乳からできている食べ物は何がありますか」とクイズを出すと、たくさん「大きいね」とか「かわいいね」と園児たちは子牛の頭や体をなでながら、楽しそうにミルクを飲ませていました。

# 水田も 緑の苗一色

## ～2年連続の豊作を願って 田植えスタート～

TANNO **端野**



▲田植えに励む山田孝幸さん

端野町二区の山田さんでは、5月24日から田植えが始まりました。移植機に苗を積み、肥料の準備を整え、さっそうと田植えを行っていました。山田さんは3年間の実習期間を経て平成19年より新規参入で就農、当時は約4畝だった水稲面積も、今は約13畝となり、もち米振興会端野支

部の副支部長も務めています。全量「きたゆきもち」となっており、今年についても是非とも良い出来栄を迎えたいですね」と意気込みを話してくれました。端野地区の水稲は作付面積260畝、1220tの生産量を計画しています。

# きたみ産イチゴ 出荷始まる

## ～11月下旬まで 本州へ出荷～

KITAMI **北見**



▲丁寧にイチゴを収穫する公平さん

北見地区川東の公平慎一さんのピニールハウスでは5月21日よりイチゴの収穫が始まりました。公平さんは6棟のハウス約420坪に、四季成り品種の「サマールピ」を栽培しており、当日は夏日で気温の上昇したハウスの中、一面緑の中に赤く色づいたイチゴを一つ一つ丁寧に摘んでいました。昨年

の9月に苗を移植、うごんこ病など発生しないよう管理に苦労しましたが、無事収穫を迎える事ができました。公平さんは「天候不順で収穫が遅れてしまうのではと心配しましたが、平年並みに出荷が始まり安心していきます、糖度も十分で甘いですよ」と話してくれました。イチゴの収穫は11月下旬まで続き市場へ出荷されています。



▼トラックから勢い良く飛び出す若牛



RUBESHIBE **留辺 薬**

# 緑の草原へ 飛び出す

## ～花園牧場に 若牛250頭入牧～

5月18日、留辺薬地区・瑞穂の町営花園牧場で乳牛及び黒毛和牛の一斉放牧が行われました。この日入牧したのは、留辺薬地区15戸の農家で飼育されている乳牛175頭・和牛75頭で、昨年とほぼ同じ頭数となりました。各農家の畜舎からトラックで搬送されてきた若牛は、消毒や耳標番号の確認作業を終えると勢い良く放牧

地へ飛び出していきます。狭いトラックから解放された牛たちは、おいしそうに牧草を食べたり水を飲んだりと100畝の広大な緑大平原を満喫していました。10月下旬までの5ヶ月間、大きくたくましくなって帰ってくるのを期待し、農家の皆さんは牛たちを送り出していました。

▼きれいに花を植え付けする女性部のみなさん



KUNNEPPU **訓子 府**

# 事務所前に 花壇設置

## ～きれいに咲いてと 心を込めて～

女性部訓子府支部（相馬真弓支部長）は5月31日、毎年実施している花壇の設置を行いました。訓子府地区事務所前や給油所・資材店舗前に設置するプランターの花壇を作るため、ベコニアやマリゴールドなど約130本を植えました。植えた花は7月頃が満開となる予定で、道行く人の目を楽しませてく

れる事でしょう。作業当日は訓子府地区の女性部役員10名が協力し、土の配合や花の配置を考えながら、約1時間かけてプランター花壇を完成させてました。相馬支部長は「女性部とJA職員で植えたので、とてもきれいな花に育つと思います」と話してくれました。

# 私のパートナー



今月号の「私のパートナー」は、「明るい家庭菜は健康第一」と話す、結婚して11年目を迎えた水野淳一さんと美香さん夫妻を紹介します。

## 健康第一の明るい家族

相内地区・美園  
**水野 淳一**さん(36歳)  
**美香**さん(34歳)

- Q**ご結婚されたのはいつですか？  
 平成13年4月21日です。
- Q**初めて会った時の印象は？  
 淳一さん「可愛らしい人だなあ～」と思いました。  
 美香さん「顔が濃いなあ～」
- Q**子ども何人ほしいですか？  
 現在2人です、今後の予定はございません。
- Q**互いに感謝しているところは？  
 淳一さん⇒仕事と育児をそつなくこなしてくれて、私の事を立ててくれるところです。  
 美香さん⇒優しいので、私が出来ない事や分からない事があっても怒らず教えてくれます。
- Q**1週間休みがあったら何をしたいですか？  
 家族みんなでディズニーランドとディズニーシーに行きたいです。
- Q**どんな家庭を築きたいですか？  
 健康第一で、笑顔の絶えない明るい家族でありたいです。
- Q**目指す農業は？  
 家族のために安定した生活が出来るよう規模拡大し、品質と収量を重視した農業を目指します。



【写真説明】  
 当時は、まだめずらしかった自慢のトラクターに乗って記念写真撮影。

北見地区・仁頃  
**橋本 勝三**さん(71歳)



## 思い出の写真 トラクター導入

この写真は50年前の昭和37年、勝三さんが22歳の時に親戚の純一さんと共同で購入したトラクターの前で撮影したものです。

勝三さんは高校卒業と同時に就農、トラクターを購入した翌年にカツ子さんと結婚しました。6畝の耕作面積に玉葱、ハッカなど作付していました。

当時はトラクターを所有しているのはめずらしく、ご近所をはじめ美里、豊実にも農作業を頼まれて援農に出向いたそうで、「いつも帰りが遅くて」とカツ子さんは結婚当初の様子を振り返っていました。

農繁期には、親戚の純一さんと交代で夜通し働くこともあり大変だったと話す勝三さん。当時、収穫は手作業で行われ、収穫物も馬で運んでいたため、「トラクターのお陰で負担が大幅に軽減したよ」と話してくれました。

昔のアルバムを開きながら、懐かしむお二人の様子がとても印象に残りました。

カツ子さんは毎年、5月下旬から10月上旬まで開催される朝市にも参加しており、「朝市に出す野菜の荷造りと運搬は勝三さんが手伝ってくれます」と笑顔で話してくれました。

## マイテイスト 短歌

昆野さんの趣味は短歌です。平成12年に、旧JAくねっぶの役員海外視察研修でオランダを訪れた時、お土産にチューリップの球根を買いました。その球根を昆野さんのお母さんが、出窓に鉢植えし、寒さも厳しい2月に開花。その時に「思い出にしたい」と考え、「蘭国の土産球根花開く故国恋しや冬の窓べに」と初めて作った歌がきっかけです。

昆野さんは、平成16年「訓子府短歌会」、平成20年には旭川の「ときわ短歌会」にも加入して、仲間と共に短歌を楽しんでいます。「農業を営んでいると、回りに歌となる材料がいっぱい。四季おりおりの情景を謳歌している」と話す昆野さんに短歌の魅力や苦勞を伺うと、笑顔で「四苦八苦して短歌詠む農われの生活リズムムつつい狂ふ」、「短歌とは何であるのか判らねど詠めば詠むほどのめり込むなり」の2句を詠んでくれました。短歌をまったく知らない私でしたが、「心情が表れている歌では」と感銘しました。

昆野さんが「ボケ防止と脳の活性化に最高だよ!」と冗談交りに話す姿に、新しい作品作りが始まっているのではと感じさせるバイタリティーが満ち溢れていました。



訓子府地区・大谷  
**昆野 範雄**さん(64歳)



▲和紙に筆で書き下ろした短歌(右から)  
 「寒月の山より射し入る夜の窓に雄阿寒岳の勇姿迫り来」  
 「頭髪も瞳も凍る厳冬の阿寒の宿の露天風呂かな」  
 「朝早に打つ啄木鳥のドラミング雪の輝く山にこだます」

## ほのぼのの広場



きたみらいの  
**ホープ**さん

## 品質向上を

相内地区・豊田  
**森谷 祐樹**さん(29歳)

祐樹さんは、玉葱、水稲などを栽培している森谷雅美さん、恵美子さん夫妻の長男で就農して5年目です。

- 趣味は？**  
 これと言った趣味はありませんが、オールマイティーに自動車など、すべてに興味があります。
- 理想の女性とは？**  
 とりあえず嫁です。今から理想の女性となればトラブルの恐れが……
- 好きな食べ物と嫌いな食べ物は？**  
 好きな物……カレーライス、ラーメン。  
 嫌いな食べ物……魚介類。
- 休日は何をしていますか？**  
 子供たちとTVゲームをしています。最近では子供に負けていたり、子供の成長が1番の喜びとなっています。
- 農業に対する抱負を**  
 昨年は降雹や大雨被害もあり大変でした。今年もT P Pなど農業情勢の先が不安定な面もあるので、まずは農産物の品質向上を目指します。

7月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部端野支部の？さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

# まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分があります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



## 5月号クイズの当選者

5月号のまちがいさがしの答えは「3. 4. 6. 9. 11」でした。正解者47名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの西川組合長にお願いしました。

( )内は地区名

- ・木村キミ子さん(温根湯)・田村 遙花さん(訓子府)
- ・稲田奈々美さん(温根湯)・不破 廉さん(相 内)
- ・今部みのりさん(留辺蘂)・山本 純子さん(上常呂)
- ・井上 希音さん(置 戸)・安斎琥太郎さん(北 見)
- ・川又 恵子さん(訓子府)・山内 千秋さん(端 野)

以上の方々には、このほど新発売されたJAきたみらいの冷凍コロッケ(5個入り)3種類をプレゼントします。



## 応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、このほど新発売されたJAきたみらいの「大正金時と鶏肉のキーマカレー」3個をプレゼントします。

# 大きくなったら



訓子府地区・柏丘  
山本 優寧さん

寛大くん(6才)  
想代ちゃん(8才)  
愛心ちゃん(12才)

## 飼育係が演奏家

優寧さん(中央後ろ)

ネコ科の動物が大好きなので、動物園の飼育係をしたいと思います。あともう一つは小学校時代のスクールバンド、中学生からの吹奏楽の経験を生かして、いろいろな曲を弾けるプロの演奏家になりたいです。

## 獣医さん

愛心ちゃん(右)

私は犬とカメが大好きです。大きくなったら獣医さんになって、動物の病気を治してあげたいです。

## ペットショップの店員さん

想代ちゃん(左)

おねえちゃんたちと同じように私は、犬とネコが大好きです。ペットショップ店で働いて、自分の店を持ちたいです。

山本拓志さん、洋子さん夫妻の三女一男のお子さんです。待望の男の子が生まれ、昨年からのぼりが元気に泳いでいます。寛大くん「4+6」と尋ねると「10」と答えてくれたり、トーマスの顔の真似もしてくれました。

# ほのぼのの広場



## わが家のアイドル

上常呂地区・常川

梶浦 志雄(しおん)くん(4歳10ヶ月)  
陽桜莉(ひより)ちゃん(3歳2ヶ月)  
壱 貴(いつき)くん(1歳5ヶ月)

## なかよし3兄妹弟

上常呂の常川にはいつも仲の良い小さな3兄妹が遊んでいる姿が見られます。

お兄さんの志雄くんはお父さんといっしょに農作業の手伝いをしてくれるしっかり者です。陽桜莉ちゃんは面倒見の良いお姉ちゃんです。よく弟の遊び相手になってくれるためお母さんは助かっているそうです。一番下の壱貴ちゃんは、まだ歩き始めたばかりですが、保育園からお兄ちゃんお姉ちゃんが帰ってくると、遊んでもらえるのがうれしくて、歩き始めて数ヶ月しかたっていないですが、二人の後を一生懸命追いかけて3人揃って仲良く遊んでいるそうです。

志雄くん陽桜莉ちゃん壱貴くんは梶浦貴志さん唯さん夫妻のお子さん達です。

## おらがまちの



## 2人で旅行

## おしどり夫婦



北見地区・三輪

竹下 忠彦さん(73歳)  
秀子さん(72歳)

忠彦さんは北見の三輪出身で昭和29年に中学校を卒業した後就農しました。就農当時は畑作三品の他ハッカなど2畝を作付けしていましたが、現在は規模拡大し12倍の24畝の耕作面積となりました。就農後の苦労はあったが、農業を通じて出会えた仲間との交流は今も続いており、かけがえない存在だ」と話してくれました。

秀子さんは北見市仁頃出身で、中学校を卒業した後、実家の農業を手伝っていました。忠彦さんとは親類の紹介で知り合い、昭和35年に結婚。当時の農作業は全て手作業で大変だったが、それが当たり前だと思っていました。今となっては良い思い出です」と話してくれました。

今年(今)は気候の変化が激しい年ですね、植え付け作業も時間がかかりましたが農作業事故など気を付けて豊稔の秋を迎えたいですね。

(北見地区・のっちゃん)

農作業事故が最近多くなっているのが気がかります。事故には十分に気を付けて、笑って迎えられる出来秋を期待しています。

毎(毎)日楽しみに「おひさまサラダ」を拝読していますよ！ 広報編集委員さんいつもありがとうございます。

(訓子府地区・南 雅之さん)

愛読いただき有り難うございます。5月から広報誌編集委員が新体制となりました、今まで以上にがんばって作りますので、これからご意見ください。

## 読者の声

夏(夏)が始まります、体に気をつけて仕事がんばってください、「お父さん」。

(置戸地区・石村奏望さん)

お父さんへの応援メッセージをいただきました。こんなメッセージもらったら、元気100倍、作業にも力が入りますね。「がんばれお父さん!!」

連(連)休中どこへも行かずヒートの苗取りをしています。初めてやりましたが母に「上手いじゃん」と言われ、うれしかったです(一部)。学校に行かせるのが勿体ない程の働きぶり、将来が楽しみです。(母)

(端野地区・今村一郎さん)

仲良く家族で働いている風景が思い描かれます、家族揃って協力しあえる仕事として、農業ってすばらしいですね。

# INFORMATION



## 豊穣を願って大きくなあれ!

### てん菜

きめ細やかな肥培管理で  
高収量・高糖分収穫

北見地区・上仁頃の斉藤和雄さんは、玉ねぎ、小麦、てん菜、ハクサイなど20畝を作付けする畑作と野菜の複合農家。内てん菜は2畝を予定し、3月17日に播種。苗は順調に生育し、玉ねぎの定植作業を終えた後、5月3

日からてん菜の移植を始めました。斉藤さんは「ここ数年高温・多湿で減収が続いている。きめ細かな肥培管理を心がけ、高収量・高糖分を目指したい」と話してくれました。

※JAきたみらいでは、今年のとん菜作付面積は3830畝で、20万3千㍓の生産を計画。



▲移植作業を行う斉藤さん夫妻 (5月3日撮影)

### 玉ねぎ

肥培管理での徹底で  
反収4・5基めぞす

端野地区・川向の富樫悟さんは、玉ねぎ、てん菜、小麦、大麦などで約25畝を作付け。

玉ねぎは、「北はやて2号」「パレットベアー」「オホーツク222」「北もみじ2000」の4品種12畝を作付けしています。

極早生種「北はやて2000」苗を皮切りに4月26日から4畝用の移植機を使って、1日1・5畝ペースで植え付けが始まりました。

富樫さんは、「肥培管理を徹底し、10畝当たり4・5基をめざしたい」と意気込みを話してくれました。

※JAきたみらいでは、今年のもみじ作付面積は4450畝で、24万7千㍓の生産を計画。



▲移植作業を行う富樫さん (5月3日撮影)

### スイカ

メロン・いちごに続け  
“第三の果実”に期待

JAは、ハウスの有効活用にもつながりレストランやホテルの外食産業でデザートとして人気の高いスイカに着目し、農家組合員に呼びかけて「きたみらいすいか研究会」を昨年の4月に立ち上げました。

JAは、ハウスの有効活用にもつながりレストランやホテルの外食産業でデザートとして人気の高いスイカに着目し、農家組合員に呼びかけて「きたみらいすいか研究会」を昨年の4月に立ち上げました。会長を務める訓子府地区の西森信夫さんのハウスでは、植え付けベツ

に敷いたマルチに穴を開け、「紅まくら」や「小玉スイカ」の苗を均等に一株ずつ、丁寧に植えていました。西森さんは、「栽培管理は難しいが、昨年の経験を生かし、市場や消費者に喜ばれるスイカを生産したい」と話してくれました。

メロン・いちごに続く「第三の果実」の産地形成に期待が膨らみます。※同会は今季、スイカ作付面積8戸で計2100㍓、6.5㍓の生産を計画。



▲スイカを丁寧に定植する西森さん家族 (5月15日撮影)

### 馬鈴しょ

植え付け順調  
反収2基めぞす

訓子府地区・穂波の佐藤茂樹さんは、畑作4品とハクサイやゴボウなどの野菜を含め43畝作付け。生食用馬鈴薯の「男爵」12畝、「スノーマーチ」50畝、加工用「さやか」5畝、加工用「さやか」5畝を4月29日から植え付け始めました。

今年は雪解けが遅く、作業の進捗が懸念されま



▲植え付け作業に励む佐藤さん夫妻 (5月3日撮影)

したが、4月末から高温が続き、ほぼ例年とおりの春耕開始となりました。馬鈴薯振興会の副会長を務める佐藤さんは「ここ数年、夏の猛暑で小玉傾向だった。今年は、大玉で反収大コン2基(2800kg)以上は収穫したい」と話してくれました。

※JAきたみらいでは、今年のもみじ作付面積は1970畝で、生産量6万5千㍓、加工用は428畝で、生産量1万3千㍓の生産を計画。

# INFORMATION

## 玉ねぎ博士をめざして！

### 北光小学校で体験学習

北見市立北光小学校の3年生93名は5月18日、学校の敷地内にある農園で玉葱の植え付けの体験学習を行いました。

当初16日の予定でしたが、雨のため18日に変更となり、児童たちにとっては待ちに待った実施となりました。まずは農園の隣のグラウンドで、技術開発グループの庄子マネージャーが玉葱の苗が出来るまでを紙芝居



▲玉ねぎの植え方を教わっている児童



▲真剣に玉葱を植える児童たち

で説明。その後、普及センターの直井専門普及員から植え付け方法が説明された後、子供達は1列に並び、JAより提供した玉葱の苗4本を受け取って13人ずつ順番に農園へ入り玉葱を植えていきました。

「おいしくなれって、お願いしながら植えたよ」と笑顔で話してくれました。

同時に根の生長を観察するためのペットボトルで玉葱を育てる方法も説明し、各クラスの班ごとに1本ずつ植え付けを実施していました。

6月8日には、生育状況の確認や玉葱についての詳しい講義を予定しています。

## 季節の旬をお届けします

### かあさんの朝市会

### 20年目スタート

北見市かあさんの朝市が5月27日、JAセンター事務所特設会場が始まり、小雨交じりの肌寒いなか約100人の市民でにぎわいました。

朝市会は今年で20回目を迎え、販売開始に先立ち、松尾春子会長が「消費者の皆さんとの対話を大切にしながら、今年も新鮮な野菜や果物を届けたい」とあいさつしました。会員9人がそれぞれの売り場にアスパラガス、ホウレン草、レタス、小松菜や山菜、花と野菜苗などを並べ、「お久しぶりです」などの会話を交えながら販売していました。

今年の朝市会開始を楽しみにし、家族4人で会場に訪れた市内常盤町の東野知子さんは「農家のお母さんたちが作った地場野菜は安心で安くておいしいので毎週来たいです」と話してい



▲新鮮な野菜を買い求める市民

ました。朝市会は10月7日までの毎週日曜日、午前6時から同会場で開催されます。

## 北海道の農業を

### 学ぶ・観る・食す

### JA東京ママさん大学来北

JA東京女性組織協議会主催の、東京都の16JAが参加してオホーツク管内の農業を学ぶ・観る・食すツアー「JA東京ママさん大学」が開催され、第1陣のJA東京みらい女性部42名が5月18日に来北しました。「JA東京ママさん大学」とは、その地域の文化や歴史を調べて体験することで、人生観を高めることを目標として毎年実施しており、今年で30回目となります。

ツアーの目玉として13年前に同大学で管内を訪れた際、網走の天都山に植樹した白樺など3種類の樹木約千本を再訪することで、今回網走市役所より好意で再訪記念の看板を設置していただきました。

また、JAきたみらい端野地区を30分程かけて、バス内から見学する行程があり、職員がバスガイドとして同乗し選果場や協和地域を回り、きたみらい加工食品のコーナーを特設したオホーツクドライフィンまで案内をしています。

JA東京みらいの貴井明美部長はきたみらいの印象について、「とにかく



▲白花豆ドレッシングを試食するJA東京みらいの女性部員

## 高品質生産に感心

### 海外研究者が

### 玉ねぎ生産現場見学

米国やオランダ・ニュージーランドなど6カ国の植物育種研究者ら9人が5月18日、日本の玉ねぎ生産量を誇るJAきたみらいを訪れ、苗の定植や選果施設など見学しました。一行は21日から福岡で行われる、「食用ネギ類国際シンポジウム」参加のために来日しており、市内のグリーンズ北見や訓子府町の道総研北見農試などを見て回り、畑では玉ねぎ苗の定植作業など見学しました。研究者との懇親会にはJAや北見

農試、グリーンズ北見、移植機・種苗メーカーなど8団体31人が参加し、JAの西川孝範組合長は「研究者をはじめ、種苗・生産・流通の関係者が一堂に会して議論を深め、情報の共有ができる」とシンポジウム開催の意義をたたえました。

アルゼンチンから来日した国際食用ネギ学会会長のクラウディオ・ガルマリーニ博士は「苗の移植機を初めて見た、生産者やJA、種苗会社などが連携して高品質で安定した玉ねぎを生産している」と感心していました。

同シンポジウムは国際園芸学会が母体となり、3、4年に1度開催しており、今年が6回目であり、日本では初の開催となります。

### ▼プロジェクターで収穫までの作業を紹介



# INFORMATION

## 第4回 理事会報告

5月30日、午前9時より第4回定例理事会が開催され、報告事項12件、議決事項8件、協議事項3件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①内部監査(貯金・共済)について
  - ②組合員状況報告について
  - ③財務状況報告について
  - ④人事発令について
  - ⑤夏期手当の支給について
  - ⑥北見市に対する平成23年度繰上債の貸付について
  - ⑦10周年記念事業の取組みについて
  - ⑧作況調査(5月15日)報告について
  - ⑨北海道馬鈴しょ協議会H23事業報告及びH24事業計画について
  - ⑩生乳生産状況及び個体取引価格状況について
  - ⑪一部業務の見直しについて
  - ⑫オホーツクJA組合長会海外視察研修の実施について

- 【議決事項】
- ①出資増減口及び持分譲渡について
  - ②固定資産の取得及び処分について
  - ③平成23年度きたみらいディスクロージャー誌の発行について
  - ④平成24肥年年度肥料事業推進方針について
  - ⑤総代選挙に係る選挙管理者等の指名について
  - ⑥夏期地区別懇談会実施日程(案)について
  - ⑦5月25日の降雹・集中豪雨の被害について
  - ⑧青果物センター事務所新築工事に係る業者選定について

- 【協議事項】
- ①総代会意見の対応について
  - ②玉ねぎ全道共計個別配分に関する対応について
  - ③農家経済再建対策ガイドライン(案)について

- 6月21日(木) 畑楽クラブ第10回講座
- 6月25日(月) 26日(火) フレミズ役員研修
- 6月27日(水) 女性部JA常勤役員と意見交換・フレミズJA常勤役員と意見交換
- 6月29日(金) 交換

- 7月9日(月) 畑楽クラブ第11回講座
- 7月12日(木) 青年部8支部交流トッチポール大会

## 青年部・女性部・フレミズなど 6・7月のおもな活動計画

## 地区別懇談会で 声を聞かせて下さい ～6月30日から地区別懇談会～

平成24年度「夏期地区別懇談会」が下記の日程で開催されます。懇談会は組合員皆さんからJAへの要望・意見などをお聞かせいただき、明日のJAに反映させることを目的として開催されるものです。

農繁期でご多忙とは思いますが一人でも多くの組合員と青年部、女性部、フレミズ、家族皆さんの出席をお願い致します。

- 記
- 日 程 6月30日(土)～7月4日(水)までの4日間
  - 時 間 午前の部 9時00分から12時00分  
午後の部 1時30分から 4時30分

日 程	地区事務所名	
	午 前	午 後
6月30日(土)	端野 (2階会議室)	北見 (センター2階会議室)
7月2日(月)	相内 (2階会議室)	訓子府 (3階会議室)
7月3日(火)	留辺蘂 (2階会議室)	置戸 (町中央公民館)
7月4日(水)	温根湯 (2階会議室)	上常呂 (1階会議室)



▲昨年7月5日にセンター事務所で開催された北見地区懇談会

地区名	温根湯	留辺蘂	置戸	訓子府	相内	上常呂	北見	端野
地区取材担当	虻川卓也	中野孝祐	酒井沙織	中川裕二	辻本均	荒畑正紀	横田佳織	扇谷光輔
ふれあいグループ協力員	黒宮裕一	黒宮裕一	曾我妙子	小林雅司 GM	竹倉雅洋	野口和寿	土屋正樹	南保和幸



▲左前から 中川委員、扇谷委員、小野寺委員、中野委員、辻本副編集長、本多委員長、荒畑編集長、虻川委員、横田委員、酒井委員、堀アドバイザー

## 新発売 スパイシーに仕上げた 「大正金時と鶏肉のキーマカレー」

JAでは地元の農畜産物を活用した加工品開発に取り組み、生産量日本一のタマネギなどを材料に、レトルトタイプの「大正金時と鶏肉のキーマカレー」を発売しました。このキーマカレーは2010年発売の「玉ねぎと牛すじのカレー」に続くちょっとぜいたくなシリーズの第2弾です。新製品は道内産の鶏ひき肉で辛めのルーを作り、メキシコの郷土料理「チリコンカン」風に仕上げようと、道内産の「大正金時」の生豆を活用して粒の形を残しました。



▲発売された「大正金時と鶏肉のキーマカレー」

製造はオホーツク管内遠軽町の食品会社に委託し、180㍑入りで希望小売価格は550円(税込)です。同商品はJR北見駅前のまちきた大通ビル「パラボ」や、同JA管内のAコープ店、北広島にあるホクレン農業体験施設「くるるの杜(もり)」などで取り扱い、JAのネットショップでも22日から販売中です、是非ご賞味下さい。

## おひさまサラダ編集委員会 新体制で取材活動開始!!

企画振興グループでは今までの地区担当からエリア担当へと変更しました。これに伴い広報誌編集委員の取材体制も、一新し担当地区を変更をしています。皆さんのところに取材で訪れたときは是非ご協力お願いします。

- 広報誌編集委員
- 委員長 本多勝彦
  - 編集長 荒畑正紀 副編集長 辻本均
  - 委員 扇谷光輔・虻川卓也・酒井沙織  
中川裕二・小野寺夢・横田佳織  
中野孝祐
  - アドバイザー 堀 仁志

## 「報徳名誉賞」受賞

### 北見地区・大正 八木沼隆春さん

### 「事跡顕著が認められ」

北見地区・大正の八木沼隆春さん(75)は平成23年度の北海道報徳社による報徳名誉賞に決まり、6月に開催されるJA北海道中央会総会の席上で表彰されます。北海道報徳社は昭和57年より、職業愛、郷土愛の心篤く、自立自助の意欲旺盛な農漁業者で、互助協同の精神に基づき積極的行動により地域農漁業の振興、協同組織の発展に貢献された方々を選考し、「報徳善行賞」を表彰。その中で昭和58年より善行賞受賞者のうち特に事跡顕著な方を選抜し「報徳名誉賞」を毎年表彰しています。八木沼さんは職業愛、郷土愛の心篤く、自立自助の意欲に富み互助互譲の精神に基づき積極的な行動によって健全経営はもろろん周辺農業者の模範であると認められました。又、八木沼さんは「里親の会」の理事を長期間務め、3人の子供の里

親として引き受け、成人となるまで立派に育て上げている一方、地域では地区の連合会長を長期にわたり引き受け地域活性化・発展の為に寄与しています。農業においては麦作振興会の会長として当時12あった集団の一本化に尽力し、地域の小麦生産振興に大きく貢献されており常に指導者として



▲「報徳名誉賞」を受賞した八木沼 隆春さん

大きな功績を果たしています。経営については里子であった夫婦に移譲されており、次世代についても継続して安定した農業と地域貢献が期待されます。



## 鶏手羽のハチミツしょうゆ煮

【エネルギー351kcal・塩分2.1g・調理時間20分】

### 【作り方】

- ①ジャガイモはたわしでこすり洗いし、大きければ半分に切る。鶏手羽は骨に沿って包丁で切り込みを入れる。
- ②深めのフライパンに①を入れ、揚げ油をひたひたに注ぎ、強火にかける。
- ③ふつつつしてきたら中火にし、ジャガイモに竹串が通るくらいまで揚げ焼きにして、いったん両方とも取り出す。
- ④フライパンの油を除いてキッチンペーパーで拭き、③のジャガイモと鶏手羽を戻して、Aと水1/2カップを加え、中火で汁がなくなるまで炒め煮をする。

### 【材料：4人前】

- 鶏手羽中 ..... 8本
- ジャガイモ ..... 小15個 (600g)
- 砂糖・酒・ハチミツ... 各大さじ1杯
- しょうゆ ..... 大さじ3杯
- ニンニク (つぶす) ..... 1かけ
- ショウガ (皮ごと薄切り) ..... 2枚
- 白煎りゴマ ..... 大さじ1杯
- 赤トウガラシ (種を除き、小口切り) ..... 1本分
- 揚げ油

一家の光2012年5月号料理カードから  
調理：小林まさみ



## フキとタケノコの混ぜずし

【エネルギー382kcal・塩分1.5g・調理時間30分】

### 【作り方】

- ①フキは2mm幅の斜め薄切りにする。タケノコは縦細切りにする。油揚げは熱湯で軽くゆでて冷まし、水けを絞り、横半分に切って縦細切りにする。
- ②鍋にAを煮たてて、①を加え、中火で5分煮て火を止め、冷ます。
- ③Bはよく混ぜて溶かしておく。
- ④ご飯に③を加え混ぜ、うちわであおいで、途中でひと混ぜする。
- ⑤④に汁けを切った②とCを加え、さっと混ぜる。

### 【材料：4人前】

- ご飯 (炊きたて) ..... 2合分
- フキ (水煮、軽く洗う) ..... 60g
- タケノコ (水煮、熱湯でゆでこぼす) ..... 100g
- 油揚げ ..... 1枚
- だし汁 ..... 1カップ
- みりん・薄口しょうゆ... 各大さじ1杯
- 酢 ..... 1/4カップ
- 砂糖 ..... 大さじ2杯
- 塩 ..... 小さじ1/2杯
- 白煎りゴマ ..... 大さじ2杯
- ちりめんじゃこ ..... 大さじ4杯

一家の光2012年5月号料理カードから  
調理：小林まさみ

## 編集後記

・当JAの広報編集委員会体制が見直され、従来の5名から6名の増員が図られて11名体制となりました。私もその一員ですが、今後は広報全般にわたるアドバイスを主にいたします。

・創刊号から112号までの編集などに携わり、数え切れないほどの組合員と家族の皆さんに接することができました。今後、カメラとノートを手にして取材に出ることが少なくなりますが、これまで取材を快く受けてくれた皆様に厚くお礼申し上げます。

・新しい6名が加わった広報編集委員会。新しい感覚と発想の基で、「読みやすくなった」「紙面が変わった」と言われる「おひさまサラダ」の発行を期待し、最後の編集後記とさせていただきます。

長い間、本当にありがとうございました。  
(堀 仁志)

## JAきたみらい概要

(平成24年5月21日現在)

- ・組合員数(正) 1,826人
- ・組合員数(准) 5,713人
- ・組合員戸数(正) 1,227戸
- ・貯金 101,479百万円
- ・貸出金 20,044百万円
- ・出資金 5,090百万円

発行 きたみらい農業協同組合  
〒090-0813 北海道北見市中ノ島町1丁目1番8号  
TEL0157-32-8777(代)

責任者/西川孝範

編集者/宮農振興部/企画振興グループ